

令和三年度後期日程入学試験【小論文A】（人文社会科学部 人間文化学科）
模範解答例

問題一

問一 ㉔荷担（加担） ㉕得体 ㉖功績 ㉗媒介 ㉘残酷（惨虐）

問二 人を殺せ、戦え、という国家の命令に対し、いかなる理由においても人間には人間を殺す権利はなく、戦争は罪悪だと主張すること。（六〇字）

問三 自分自身を戦争の被害者と位置づけ、戦争遂行者の一員であったことをうやむやにし、誰もが「だまされていた」という結論を出すことで、戦争責任の追及をしないでいること。（八〇字）

問四 （二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。）

採点基準

- 一、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。
- 一、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。
- 一、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。
- 一、文字表記が明瞭かつ正確であること。（誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。）

問題二

問一 小説文を読むことよって得られた、自分がすべき行動やしてはならない行動などの教訓的読みが記されているような作文。（五六字）

問二 （二百字の論述問題は、解答者の考えを、一定の制約のもとに、自由に述べさせるものであり、解答例の作成はその性質上、困難であるので、採点基準を以てこれに代える。）

採点基準

- 一、問題文及び設問を正確に読解し、その内容を踏まえて解答していること。
- 一、解答者の考えが論理的に矛盾なく、明確に述べられていること。
- 一、正確で分かりやすい日本語で解答されていること。
- 一、文字表記が明瞭かつ正確であること。（誤字、脱字、不正確もしくは甚だしく判読し難い文字などは減点する。）